



森のなかま

2018年10月号

NO. 126 (継続271号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302



かなりんちゃん
体調悪く欠席



しずくちゃん

『第17回やどりき水源林のつどい』が開催！

8月4日(土) 8:30~15:30 (8/3 準備)

(写真協力:赤崎さほりさん12期、星野澄佳さん13期)



ウオービーくん

< 記 副理事長 5期 森本 正信 >

- ・参加者(お客様) 312 名
コース別内訳:トレッキング 106 名、水生生物観察 159 名、森林癒やし体験 47 名
- ・インストラクター: 8/3 準備 30 名、当日 73 名(計 103 名)
- ・他 県・財団のスタッフ・出展者等で約 60 名
- ◆昨年同様、水週間の第一土曜日 8 月 4 日に開催された平成最後の水源林のつどい。すっきりとまとまったイベントとなり、参加者からのアンケート結果が待ち遠しい。
午前中は、恒例のトレッキング・水生生物観察・森林癒やし体験で、やどりき水源林を満喫。
午後の森林交流会は、各ブースとも盛況で、参加者に森林との触れあいや親しみ感が促進出来たようだ。
なお、式典の中で定着型ボランティア団体への感謝状贈呈式もあり、私ども関連 4 団体も顕彰されました。
(七樹会、八樹会、9期会、柔一輝会)(他に他団体2)
- 来年は、集客面や企画面での新機軸を打ち立て、おもてなしファーストでアテンドすることで、かながわ水源の森林づくり運動を発信・訴求させていきたい。

主催 県民との協働による森林づくり実行委員会

(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川県、神奈川県森林組合連合会、神奈川県木材業協同組合連合会、神奈川県山林種苗協同組合、神奈川県森林協会、連合神奈川、湘南リビング新聞社、神奈川新聞社、南足柄緑の少年団、箱根みどりの少年団、箱根町、NPO かながわ森林インストラクターの会

共催 松田町 協賛 神奈川県内広域水道企業団

準備 8/3 前日



8/4 全体プログラム

- 8:45~10:00 受付
- 10:00~12:00 トレッキング等
(水源林トレッキング、水生生物観察、森林癒やし)
- 12:00~12:20 挨拶、感謝状贈呈式
- 12:20~13:00 森のコンサート
- 13:00~14:00 森林交流会等

当日の各担当部門毎の入念な確認ミーティング



バス到着 ⇒ 会場へ ⇒ 各コースのご案内



森林癒やし

- 森林浴で心と体をリフレッシュ
- ★ 森からの「おもてなし」の樹冠の「揺らぎとほほをなでる風」を体験。



水生生物観察

- 寄沢に棲息する水生生物の観察
- ★ 子供達の人気 No.1 のコース
カジカ(魚と蛙)もいました。



(10:00 ~ 12:00) トレッキング等のコース

成長の森コース

- 平成 20、21 年度の成長の森づくりで植樹したエリアの木々の成長した姿を見るコース。
- ★ 木々はこんなに成長しました。



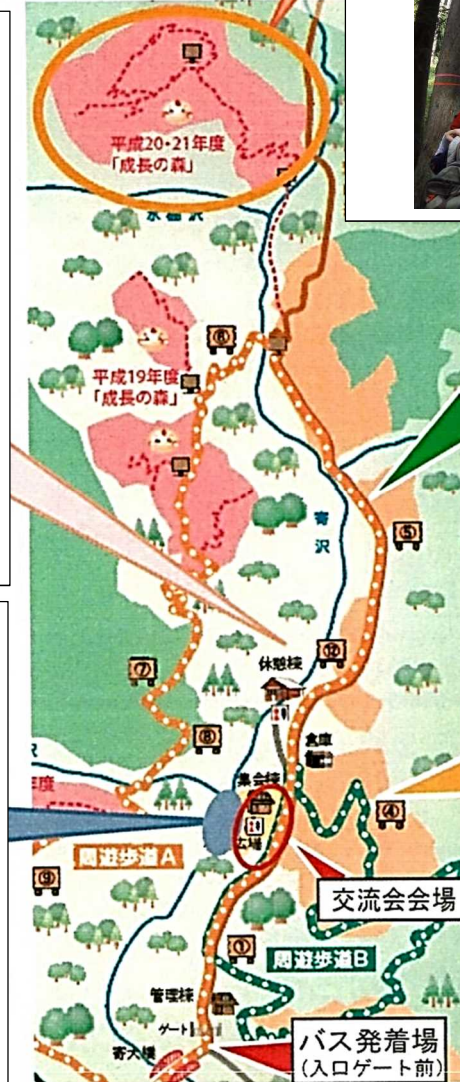
林道コース

- 沢沿いの林道を歩くコース。
- ★ ゆっくり散策、森の中、水の流れる川沿いは気持ち良かった。



周遊道 B コース

- 歩きながら木々や草花を観察するコース
- ★ 水源の森林づくりを目指す姿が分った。また、森の香りや感触が楽しかった。



(12:00~14:00) 開催挨拶、感謝状贈呈 昼食 森のコンサート 交流会等

総合司会

上宮田インストラクター



司会

みどりの女神
竹川さん

感謝状贈呈を受ける

我が会の7期、8期、9期、11期の皆様



寄祭囃子(やどいきまつりばやし)

大寺宮地祭囃子保存会の皆様



昼食



草笛合奏

師井様
松永様

人気のスイカ割り



丸太切り



森のクラフト



手作りグッズ



さようなら 来年も来てね!!



森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第26回 木は話をする

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

大量発生して森林を食い尽くすほどの威力を持つ害虫にマイマイガの幼虫がいます。特に北アメリカでは大きな被害を被っています。ところがそのアメリカにはもともと生息しておらず外来種なのです。桑の葉しか食べぬ蚕に代わる養蚕用の昆虫にしようと海外から持ち込んだマイマイガの飼育実験をしていたものが逃げ出した結果、現在のように大量発生する森林害虫になったといういきさつがあります。



マイマイガと産卵

マイマイガは世界の侵略的外来種ワースト100にも選定されています。昆虫などの動物に限らず植物でも海外からのものを持ち込む時には将来にその動植物が持ち込まれた場所でどのように繁殖していくかを見極めることが大切なことをこの事実は教えてくれています。

マイマイガの害はわが国でも発生します。大量発生すると市街地でも野外の夜間照明などの明るいところに集まって大きな障害になります。カラマツやシラカンバも食害されて大きな被害を受けることがあります。

北海道にはシラカンバが多く分布しますが、マイマイガに食害されたシラカンバで興味あることが分かっています。北海道の森林生態に詳しい渡辺定元先生が明らかにした事実です。マイマイガ幼虫に食害されたシラカンバは青葉アルコールの放出が増加するのです。青葉アルコールは樹木が若葉の時に放出する青臭い香りです。この香りには抗菌作用や昆虫の忌避作用などがあります。さらに詳しく調べるとシラカンバはマイマイガに摂食されると青葉アルコールを大気中に放出するだけでなく、その雰囲気下の別のシラカンバ葉でフェノール成分が増大することがわかりました。そしてそのフェノール成分はフェノールに糖が付いた化合物なのです。そのような化合物を配糖体と言います。そして、そのフェノール配糖体のわずかな増大ではマイマイガの摂食嗜好を高めますが、さらに増大すると忌避するようになるのです。糖は昆虫にとっても美味なのでしょう。ですから配糖体の量

が少量ならば摂食嗜好を高めたのです。さらにわかったことはこのフェノール配糖体から糖がはずれたフェノール成分そのものでは配糖体よりも低濃度でマイマイガを忌避することもわかっています。ですから忌避作用の本体はフェノール成分のようです。

ところでこれまで述べてきた事実は植物の大変興味ある働きを教えてくれているのです。

マイマイガに食害されたシラカンバから放出された青葉アルコールで他の木のフェノール成分の増加を促したことです。他の木は青葉アルコールの危険信号によって害虫が身近に迫っていることを教えられていることになります。このような化学成分は化学伝達物質と呼ばれています。根から地中を伝わって他の植物に影響を与えるような化学物質はありますが、大気中を揮発性物質によって伝達する方法は、特にケミカルコミュニケーションと呼ばれています。木が隣りの木と揮発性物質を使って話をしていることになるのです。このような



シラカンバ（白樺）

例はポプラやサトウカエデなどでも観察されています。葉を引き裂くと傷つけられた葉のフェノール量やタンニンの量が増加します。これらの化合物は抗菌作用を持っていますので、傷口からの細菌の侵入を防いだり、苦みのある成分で害虫の摂食を防ぐのに役立ちますので植物の自己防衛策の一つと考えられます。

しかしそれだけではありません。直接傷を受けていない近くにある木の葉のフェノールやタンニン含有量も増えるのです。このことは傷害を受けた木から大気を通じてケミカルコミュニケーションが行なわれていることを示しています。

黙って静かに立っているように思われる植物ですが、外敵に対して化学成分によって自己防衛をし、それだけでなく仲間も生き残る術を身につけているのです。まさに植物は活発に活動していると思わざるを得ません。

(イラスト 広報部 加藤 優美 ⑮)

活動短信

今回の掲載は7/21～8/15です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラスト
より



桐始結花 7/23～7/27 頃

きりはじめてはなをむすぶ

桐の実がなり始める

第三十四候 大暑 初候

寒蟬鳴 8/12～8/15 頃

ひぐらしなく

ヒグラシが鳴き始める

第三十八候 立秋 次候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずバタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので
写真もあれば1枚添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)
場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者 人数
県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財(公財)かながわトラスティみどり財団、[看] 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) [研]:研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

◆ 株式会社荏原製作所 水と空気と環境の森/森林活動
間伐体験・スタンプラリー・丸太切・クラフト・森の観察

日 7月21日(土)10:00～16:00、晴れ
場 南足柄市内山 県立21世紀の森
参 18名(大人11人 子ども7人)
県 水源の森林推進グループリーダー 新谷様
イ L 上田⑩、大道⑥、真部⑬、坂井⑮

交通渋滞のためバスは少し遅れて到着した。

他の活動と同時刻集合であったため駐車場付近は錯綜し、所定位置にバスを止めるのに時間を要した。その間にバスの中でオリエンテーションを行なった後、運動広場を経由して、金太郎コースわきのカツラ植林域の活動ベースに集合した。

午前中はカツラの間伐2本、子どもたちは木陰で丸太切をしてコースターを作成した。また、間伐作業を散策路

上から見学し大きなカツラの木が「バリバリバリ」、「ドスン」と倒れる様子を息をのんで観て、その後 歓声を挙げてお父さんやお母さんの活動に大声援を送っている姿が印象的でした。

大人たちが間伐の後処理をしている間に森の話や、昆虫の話をしながらスタンプラリーを愉しんだ。無事間伐作業も後処理が終わった時点で昼食となった。

午後からは研修室で、マイ箸づくり体験と作業の終わった子どもたちにうぐいす笛キットを配り笛を作った。

最後は金太郎コース～連絡通路～どんぐりコースの散策を楽しんだ。

暑い一日だったが運動広場でロケットラワンを飛ばしたり、カツラの葉っぱのかおりを体験したり、木々の息吹を感じながら森の中での活動を楽しみ、予定より少し早かったが無事活動を終えることができた。

(記 上田 啓二 ⑩)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 県民参加の森林づくり活動(下刈り)

日 7月21日(土)8:30～13:30、晴れ
場 小田原市荻窪(緑の祭典植栽地)
参 37名
財 大木様 古舘様 [看] 青木様
スタッフ 小田原市森林組合 佐藤様
小田原市農政課 片野様
イ L 上宮田⑪、国分③、山崎⑦、辻村⑨、湯浅⑪、
西出⑫、北村⑬、岩田⑭、大高⑮、大見⑮、小野⑮
[研] 塚野⑮、妙泉⑮

一般応募 100 名に対し 37 名の参加にて実施。予定エリアの 50%を目標として作業開始し、段取り、効率ともに良く、少ない人数で当初予定エリアをすべて完了。

参加者も刈り後のエリアを見て達成感を得、今後の苗木の生育を楽しみにした。

安全面では、熱中症対策を最重点とし、10 分～15 分毎に休憩を取り、水分、塩分の補給をこまめに行い、熱中症にかかった人もなく無事になし終えた。

(記 小野 雅一 ⑮)

◆ 神奈川県法人会連合会

地域社会貢献活動(下草刈り)

日 7月21日(土) 10:30~12:00、晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森の成長の森

参 約360名(大人330名、子供30名)

県 中田主事、石井技師 看 小林様

スタッフ 神奈川県法人会連合会 金森様、平山様、石川様

イ L 藺田⑬、友谷①、柏倉④、佐藤⑤、永野⑥、小野⑦、
齋藤⑧、小沢⑨、水口⑨、村井⑨、大塚⑪、福島⑪、
真貝⑪、石川⑫、大原⑬、羽鳥⑭、河西⑮、末原⑮

例年参加者が300名を超える神奈川県法人会連合会様主催の「地域社会貢献活動(下草刈り)」が、今年も県立21世紀の森で開催されました。集合時間には各方面から到着したバスが所狭し、と並び、広場は多くの参加者で溢れました。当日の天気は晴れ。予定通り10:30より開会の式典が行われましたが、既に陽射しは強く準備体操を終える頃には全身汗ばんでいました。参加者はA班からR班まで、各々10~20数名の班で編成され、「成長の森」植栽地の班毎の担当エリアで作業を行いました。斜面で且つ所により足場も悪い中、タケニグサやススキ、サンショウ、クズなどの下刈りを行いました。約1時間弱と短い時間にも拘らず、30度を超える気温と強い日差しによる過酷な状況下での作業となりました。そんな中、作業後に吹き抜ける風の流れが下刈り作業による恵みであるとのインストラクターの言葉に、僅かながら達成感を得られた参加者もいたようです。

今回暑さが原因で体調を崩された参加者が5名。同行看護師さんに多大なご協力をいただくことになりました。暑い一日でしたが、大人から子供まで多数の参加者を集めた夏の一大下刈りイベントを今年も終えることができました。

(記 末原 興一 ⑮)

◆ 県立足柄ふれあいの村 フォレスターキッズ①

日 7月21日(土) 10:30~16:00、晴れ

場 南足柄市 県立足柄ふれあいの村

参 小学校1年~3年 39名(男子25名、女子14名)

スタッフ 神奈川県立あしがらふれあいの村

加藤様、佐久間様 ボランティアスタッフ6名

イ L 牧石⑭、白畑⑦、宮下⑩、木村⑭、
小杉⑮、石井実⑮

「足柄ふれあいの村」で子供たち39名、①村内の沢で水生生物観察、②間伐デモンストレーション、③丸太切り、

④アオキの除伐、⑤ミツマタの植樹を実施しました。

スタッフの加藤様(15期)より、「足柄ふれあいの村」の紹介、スケジュール等の説明、インストラクター、ボランティアの紹介後、沢に向かいました。上流の1班は水量が少なく見つけられませんでした。2班から5班はサワガニを見つけ歓声をあげておりました。



昼食後、かながわ森林インストラクターによる間伐デモンストレーションを行いました。木が倒れる迫力は十分

伝わったと思います。その後、2グループに分かれ間伐した杉で丸太切り(コースター作り・ペインティング)、アオキの除伐を交代で実施しました。休憩・水分補給を行った後、植樹場所に移動。

ミツマタの苗木とスコップ等を持ち、穴を掘り、木を植え、土をかぶせ、水やりなど、子供たちは生き生きと作業しておりました。16時すべてのプログラムが終わり、全員で記念撮影し、牧石リーダーより作業終了の挨拶後、子供たちの「楽しかった」の歓声を耳にし、お別れとしました。

猛暑の中、皆さまのご協力が無事故で終了でき感謝申し上げます。

(記 石井 実 ⑮)

◆ 神奈川県水道記念館 水源林保全体験

日 7月25日(水) 9:00~15:40、曇り

場 南足柄市内山 県立21世紀の森のマダケ展示林他

参 神奈川県営水道給水区域内の

一般県民:29名(大人13名、子供16名)

スタッフ 水道記念館2名 看 小林様

イ L 西出⑫、柏倉④、村井⑨、永松⑫



毎年、水道記念館様が小中学生とその保護者を対象に参加者を募集して、竹林での整備体験や間伐材を利用したクラフト工作(今回は箸作り)を行う事により、水資源に関わりの深い森林の保全に関心を深めてもらうために実施されている行事です。

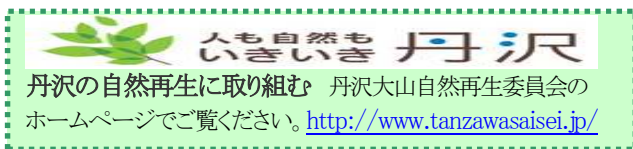
午前中は4班に分かれて、約1時間の竹林整備を行いました。休憩を取りながら水分補給をして熱中症にならな

い様に気を付けながら、竹林の整備に汗を流しました。子供たちの中には、インストラクターに水鉄砲の作り方を教わって、そちらに夢中になる子もいました。作業終了後、整備して明るくなった竹林を眺めて達成感に浸りました。

午後は、ヒノキの間伐材を利用した箸作りに挑戦しました。①用意された材料を専用台にのせて、かんで削って先端を細くします、②ペーパーで先端部を丸くします、③電気ペンで名前などを書きます、④全体に食用油を塗って完成です。中には電気ペンで上手に絵を描く子もいました。

皆さん、竹林整備の体験とマイ箸作りをお土産に帰路につかれました。

(記 西出 健一 ⑫)



◆ 藤沢市明治地区「青春の旅」森林ボランティア

- 日 8月4日(土)10:30~14:30、晴れ時々曇り
場 南足柄市内山 県立21世紀の森のマダケ展示林他
参 57名(大人15名 幼・小学生6名 中学生38名)
イ L 村井⑨、柏倉④

参加予定者が当初の30名から60名に増え、担当者2名増員に向けネットワーク派遣管理部等の呼びかけで勧誘が行われたが最終的に2名で対応となった。

これを受け、活動では「安全第一！ 子ども達に楽しい思い出を」と取り決め「インストラクターの指示に従って作業すること」を徹底してモウソウ竹、マダケの伐採を行う。

参加者の大半が中学生で、(素振り用バットを作りたい)(青竹踏みを作りたい)という目的を持ち、誰もが礼儀正しく挨拶し、炎暑の中皆一生懸命であった。

午前前半は、モウソウ竹の伐採と玉切り、後半はマダケ林の伐採に汗を流した。

午後は青竹踏み用に伐採したモウソウ竹を半割りにして磨き(紙ヤスリ・機械研磨)、マダケを使った野菜“でっぼう”作り、タケ剣玉作り、菜箸作り、一輪挿し作りと時間を忘れて取り組んだ。

最後に中学生の挨拶があり、「一日楽しかったです。ありがとうございました」の簡潔な言葉に一同喝采して終わる。

(記 柏倉 紘 ④)

◆ あしがら5デイズチャレンジ/間伐体験

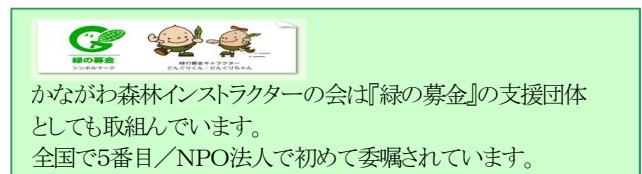
- 日 8月6日(月)9:00~13:00、晴れ
場 南足柄市 県立足柄ふれあいの村
参 児童 48名
スタッフ (株)アグサ・佐久間様 他10名
イ L 西出⑫、佐藤⑤、小沢⑨、上田⑩、
木村⑭、牧石⑭、石垣⑮

連日の猛暑の中、小学4年生から中学3年生までの子供達48名が集い、間伐体験が行われました。9時開会式の後6班に分かれ、各自、道具類を分担し現場へ移動。手の入っていない人工林の傾斜地にて、植樹/間伐の意味、日本の森林の移り変わりの話の後、いよいよ作業開始です。直径20cm. 高さ15m程の木に、初めて使う大鋸の刃を当てます。

皆、緊張して全身に力が入り、なかなか上手く動かさませんが、意欲は満々！ 何度もチャレンジするうち、慣れてきました。受け口・追い口を終え、大きなかけ声と共に、皆いっせいにロープを引きます。力を合わせ、何度か繰り返し、地響きを上げ倒れると「やったー！！」と歓声が上がりました。

その後、クラフト製作のための木材を切り出し、肩に担いで意気揚々と山道を下りました。酷暑の中の作業で、休養する子も出ましたが、水分補給に注意し、ケガ/事故も無く無事に終え、13:00 閉会式となりました。

(記 石垣 桃栄 ⑮)



◆ 県民参加の森林づくり 下刈り

- 日 8月8日(水)8:30~15:00、雨のち曇り
場 足柄下郡箱根町 仙石原 イタリ水源林
参 23名
財 豊丸様、大木様 看 小林様
スタッフ 箱根水源パートナーズ3名、
小田原市森林組合1名
イ L 古舘⑬、国分③、柏倉④、久保⑧、斎藤⑧、
小沢⑨、村井⑨、山口⑪、佐々木⑮

8月8日には台風13号が関東地方に近づいていたが、午前中は雨を免れる予報であったので、イタリ水源林での作業を決行することになった。しかし、小田原駅での受付では、41名の参加予定者が23人と半減。その上、出発時

には雨が降り始めたが、バス3台で箱根仙石原へ向かった。9:45にイタリ水源林広場に到着。激しく雨が降っていた。バスの中で20分ほど待機すると小降りになったので、作業を実施することになった。

オリエンテーションの後、4班に分かれて植栽地に向かうと、なんと、雨が上がったではないか！

10:30から11:30まで植栽地での作業を実施した。幸いにして涼しく、頻繁な休憩と水補給により、怪我人、体調不良者もなく、予定していた植栽地の下刈の作業も無事に終わることが出来た。

バスの中で昼食をすませ、待望の箱根高原ホテルの温泉に入って汗を流した。参加者全員さっぱりして反省会を行い14:00に箱根を後にした。何とも気をもむ一日であったが、皆、充実した満足感に浸りながら、家路についた。

(記 古舘 信生 ⑬)

◆ 県民参加の森林づくり 除伐

日 8月15日(水)8:40～12:00、曇り

場 足柄下郡箱根町 元箱根県有林

参 61名

財 古舘様 大木様 看 小林様

イ L 黒川⑭、滝澤⑤、白畑⑦、山崎⑦、内野⑨、

辻村⑨、上田⑩、山口⑪、山下⑪、石川⑫、

西出⑫、東⑫、渡辺⑫、木村⑭、小貝⑭、飛田⑮

研 相澤⑮、角石⑮、妙泉⑮

お盆休み中の終戦記念日、戦後初の植樹祭が行われたイタリ地区にほど近い元箱根県有林で、除伐が行われました。熱中症が心配されましたが、仙石原はオミナエシがすでに蕾をつけるなど秋の気配を感じながらの活動になりました。場所は日ごろお世話になっている箱根高原ホテルへのアプローチ沿いのエリア。アオキ、サンショウなど径3cm未満の木を除伐し、ハコネザクラ、タマアジサイ、リョウブ、カエデ、ムラサキシキブなど花や紅葉の美しい木を残して絡まった蔓を取り除く作業です。

参加者61名の皆様のご尽力で林床に適度な日光と風が届くようになり、車でお越しの方々のみならず、自転車でも芦ノ湖周辺森林内を巡るお客様にも気持ち良い森をより一層お楽しみ頂ける森林づくりが行われたと言えます。

活動後の反省会では毎回県民参加の森林づくりにご協力いただいている皆様から、場所的にも比較的 안전한エリアであるから、夏休み中の家族連れにもっと参加してもらえればいいのに、とのご助言を頂戴しました。事実、今回は森づくり作業初体験の高校生のみなさんも参加。「切っ

ちやうなんてかわいそうだね」の純粋な感慨をつぶやきながらの活動であったようです。日本の森林を保全するにはどうしたらいいのか、若い方々が考えるきっかけにこの日がなれば、県民参加の森林づくり本来の目的が達せられたと言えるのではないのでしょうか。

(記 飛田 尚弥 ⑮)

『やどりきの森へ行こう！』

各回とも 小田急新松田駅北口8:30集合。

イベント当日は駅から水源林まで
バス利用(運賃各自負担:片道620円)

529ヘクタールの水源の森からのホットなご案内

森の案内人☆特別企画



皆さんのお手入れを待つ森



11月17日(土)

家族で

森のお手入れ体験！

申込締切：11月3日(土) 定員：10家族(先着順)

平成19年度に植樹してつくれた「森」は早くも11年目となり、混み入ってきたので光が入るようになります。元気で大きな「森」になるように、少し木を伐って空間を空ける「森のお手入れ」を家族みんなで体験してみませんか？

(要事前申込)お申し込みは

NPO法人
かながわ森林インストラクターの会 へ

往復はがき、またはE-mailで先着順にお受けします。

開催日の14日前(土)締切、お申し込みが20名に満たない場合は中止となります。

住所：〒243-0018 厚木市中町2-13-14

サンシャインビル604

E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

◇インストラクターの会ではホームページで「やどりき水源林ニュース」を公開中

Webサイト

www.forest-kanagawa.jp/index.html

やどりき水源林ミニガイド

9月のトピックス

広場のヤマボウシの実が完熟でした。
キイロスズメバチもおもしろそうにしています。
(幼虫のため)



9/22 15:56 撮影 松本

10月の水源林

訪れ始める本格的な秋です。
種々の木の実があり、トンボやバッタが
いるやどりき水源林にお出かけください。
森の案内人がお待ちしております。

「森の案内人」情報

案内と事故保険は無料です。

●実施時間：毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご
連絡ください。

●問合せ：(公財)かながわトラス

みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikil27.htm>

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松
田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどり
き)」行き乗車約25分。

バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35～40分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

里山ガーデンフェスタ 2018 秋 横浜

今年春に好評だった、
「里山ガーデンフェスタ」を
秋バージョンとして開催しま
す。花と緑を愛する人の心
をつなぎ、自然環境を育む
横浜市の取り組み「ガーデ
ンネックレス横浜 2018」の見
どころとして、市内最大級の
大花壇、一面に
広がる花畑を公開する本イベント。花や緑に
囲まれた特別な空間をお楽しみください。

【開催】9/15(土)～10/14(日)9:30～16:00

※雨天開催(荒天時を除く)

【会場】里山ガーデン(よこはま動物園ズーラ
シア隣接) 横浜市旭区上白根町1425-4

【入場】無料

<http://www.satoyama-garden.jp/>

里山ガーデンフェスタ お問い合わせ
NTT ハローダイヤル TEL 050-5548-8686

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 笠原かずみ

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

Tel: 090-4137-9265

<メール・手書き原稿送付先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) [http://www.forest-](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★今年も、焼き芋が大人気だそうです。
焼き芋は、ねっとり系とホクホク系に分か
れるそうですが私はホクホク派です。焼
きたてにバターを付けて食べるのが一番
です。皆さんの好みは?

(笠原)

★10月になりましたが、まだまだ日差し
の強い日があります。朝小雨で昼頃日が
照る日は熱中症にご用心。

湿度100% 気温上昇 危ない危ない!

(黒川)

★異常な暑さが続いた夏も、秋に季節を
譲ってきました。温暖化により単に熱くな
るだけでなく、気候の活動が活発化し、
気象庁観測史上初めてのいろいろな気
象現象が起きると杞憂しています。杞憂に
なると良いんですが。

(吉田)

★9月に道志川水源林の間伐作業があり
まして久しぶりに参加、チェーンソーを緊張
操作してきました。作業後の道志川温泉
♨気持ちいいです、疲れも吹き飛びま
した!

(阿藤)

★9月も脅威の災害が日本を襲いまし
た。台風21号の被害ニュースをしていた
ら北海道の地震。私は関西空港の橋は
100回以上渡りました。山崩れは下地が
火山灰、軽石が大きな要因、丹沢も異な
るが類似。不安ですが腹をくくりましょ
う。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、
郵便局備付けの郵便振替を利用してお
申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで
2000円をお振込み下さい。振替用紙に
は、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回/1年
間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島正治

広報部: 藺田栄哉 吉田郁夫

黒川敏史 笠原かずみ

加藤優美 阿藤壽孝、竹内明彦

支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

松田町の観光パンフレットの紹介

<https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/kankou-sub/pamphlet.html>

・くるたび発見観光ガイドブック ・松田町ハイキングガイドブック ・西平畑公園パンフレット

・公園ガイド ・寄七ツ星ドッグランパンフレット ・松田町寄清流マス釣り場パンフレット

・美しい松田の自然 身近な自然ガイドブック



神奈川県松田町役場 Tel: 0465-83-1221(代表) Fax: 0465-83-1229